

令和元年度 すこやかメールマガジン 第 650 号【絵本で遊ぶ】 7月4日配信

あなたには心に残っている絵本はありますか？あるとしたら、それは子どもの頃に読んでもらった絵本ですか？それとも、お子さんに読んであげた絵本ですか？

先日、大船渡市三陸公民館で開催した研修講座「子育て・親育ちサポートサロン」では、講師に絵本専門士 牧野 幹氏をお迎えし、講話「絵本が見せてくれる風景」とふれあい遊び「親子で楽しむ絵本と遊び」を実演していただきました。

ふれあい遊びの中でお母さんと参加した2才の女の子（仮称 I ちゃん）は、絵本を介した遊びにとっても興味を示してくれました。その様子を見てみると、絵本が持つ可能性について改めて実感する場面がありました。今日はそのごく一部ではありますが、紹介します。

牧野先生は、みずみずしい果物の絵が画面一杯に描かれた平山 和子 作『くだもの』（福音館書店）を実際に読んでみせてくださいました。この本は、文字がほとんどない絵本で、大人であれば一瞬どう読んだらいいのか戸惑うかもしれません。

先生は、I ちゃんが指さした果物を「さくらんぼ」「さくらんぼすき？」とたずねたり、とって食べるまねをして「もぐもぐ。あ～おいしいね。I ちゃんもどうぞ」とすすめたりしながら、ゆったり語りかけ楽しんでいきます。

しばらくするとI ちゃんは、満足したのか、ページをそっとめくってくれました。まるで、「次はなあに？早く食べたい」と言っているようでした。その後十分遊んだからなのか、「おなかいっぱい？ごちそうさま」と聞くとおしまい。I ちゃんは、普段しているように、ちょこんと小さな手を合わせる仕草をしてくれました。

先生からは、この他にも仕掛け絵本や動きがある本、参加型絵本、遊びたくなる本など年代や嗜好にあわせた絵本をたっぷりご紹介いただきました。前回の宮古会場で参加したのは、2才の男の子3人でしたが、五味 太郎作『きんぎょがにげた』（福音館書店）を読むにつれ、夢中で金魚を探していました。

まだ上手に話せない子どもと、どうやって遊べばよいのか、どうやってコミュニケーションをとればよいか迷う保護者の方、発達段階にぴったり合う絵本を探している子育て支援関係者の方にぜひ学んでいただきたい講座です。

★同講座最終回★ 令和元年8月27日（火）二戸市民文化会館 10:00～12:00

なお、講話の間は、県子育てサポーターが託児をしてくれますので、ゆっくりお話を聞いていただけます。どうぞふるってご参加ください。【Ｙ】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」

>すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索